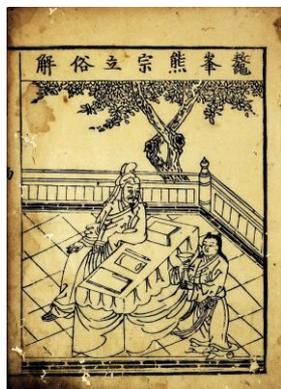


文書館ふくい

令和2年 6月発行 No.122 福井県文書館

■一乗谷に一栢あり■

画像は T0001-00084 福井県立図書館貴重資料「新刊勿聴子俗解八十一難経（序図跋）」より



「勿聴子俗解八十一難経」（天文5年（1536））は国内で2番目に古い、出版による医学書です（1番目は、享禄元年（1528）に大坂堺の阿佐井野宗瑞が出版した「医書大全」）。

出版された場所はここ福井県、越前一乗谷の高尾（現在の福井市高尾町）でした。

出版した人物は、朝倉孝景（義景の父）の招きで

京都からやってきた谷野一栢（たにの・いっぱく）という人物で、西福寺（敦賀市）には、印刷に使用された版木も現存しています。

一乗谷には、この一栢がいました。また発掘調査によって、ほかにも医師がいたことが、確認されています。永禄9年（1566）に明智光秀が籠城中に口伝したという「越州朝倉家之薬」の「セキソ散」（熊本県立美術館寄託「針薬方」より）。光秀は、いったい誰に教わったのでしょうか？



■くずし字入門講座■

テキストの問題にチャレンジする配布形式と講義を受講する講座形式の2つの形式で開催します。

①配布形式（全4テーマ、1テーマ4問）

開始日：6月中旬～

方法：①ウェブで公開 ②当館閲覧室で配布

②講座形式（全4回、各回定員18名、要申込）

日時：7月5日、12日、19日、23木祝
10:30～/13:30～（90分）

会場：当館研修室

※お申し込み時に午前の部と午後の部のどちらか、ご希望をお知らせください（内容は同じです）。

■デジタル版の“給帳”を公開■

福井藩主各代の藩士の姓名や知行などを列記した資料“給帳”（分限帳、現在でいう職員録）のデジタル版を公開します（当館ウェブサイト内「デジタル歴史情報」ページ）。

一人の藩士を追うもよし！家々の歴史をたどるもよし！家臣団の構成を調べるもよし！半知の前後で比べるもよし！いろいろ使ってみてください。

※①結城秀康②松平忠直③忠昌④光通⑥綱昌⑦吉品各代が対象です（⑤昌親は欠）。なお、ここでは、光長（忠直の子）は代数に入れていません

■ちょっと昔の6月風景■



▲海浜公園・花菖蒲
昭和53年6月下旬



▲大野城
昭和45年6月20日



WEB



Facebook



Twitter



YouTube

■文書館■ 〒918-8113 福井市下馬町 51-11

電話：0776-33-8890

ファクス：0776-33-8891

メール：bunshokan@pref.fukui.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時

■フレンドリーバス（無料）をご利用ください■



感染症対策として、閲覧室の椅子と検索・閲覧用端末の数を制限しています。

また長時間のご利用もお控えいただいております（目安は1時間）。ご協力をお願いいたします。

「文書館ふくい」の資料の画像はすべてデジタルアーカイブ福井で閲覧することができます。資料情報（資料の番号など）を入力して検索してみてください！



■6月の開館日カレンダー■

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
	は休館日です					



扉を開いたら 銀をた

— 文書館の“うら”側

福井県文書館
では
福井県に関する
歴史的な資料を
収集しています

この展示では
文書館が収集している
資料の中から
歴史的公文書と古文書を
とりあげて
移管・収集から公開されるまでの
道程を紹介しています